



Best Coffee By

MUC 上島珈琲貿易株式会社

2011年度 環境活動レポート

(対象期間:2010年9月~2011年8月)

作成日:2011年10月12日



ご挨拶

私たちは、エコアクション21の活動に昨年より参加しました。
環境への配慮は日本国内にとどまらず海外の生産国での取り組みも必要です。
環境経営は企業の社会的責任の一つとして、社員への環境教育を実施し全社一丸となって地球環境の保全に配慮します。

上島珈琲貿易株式会社
代表取締役 上島淳史

上島珈琲貿易株式会社 環境方針

私たちの取り扱う珈琲は地球環境の変化に対して影響を受け易い農作物です。しかも日本国内での生産には適さない農作物の為、その殆んどを海外の生産国からの輸入に頼っております。そこで、私たちは珈琲生産国での生物多様性の維持から消費国での環境負荷の軽減活動までのさまざまな場面で、地球環境の保全に配慮した企業となる為、全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

《行動指針》

1. 以下について具体的な環境目標を定め環境活動計画に基づき継続的な改善に努めます。
 - 1) 地球環境保全の為二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ①電気使用量の削減
 - ②ガソリン使用量の削減
 - 2) 循環型社会形成の為に省資源・廃棄物の削減及び再資源化に取り組みます。
 - ①食品廃棄物(焙煎かす・抽出かす)のリサイクル率を向上させます。
 - ②一般廃棄物の排出量の削減
 - 3) 水資源を有効活用します。
 - ①一般排水の削減
 - 4) グリーン購入を推進します。
 - 5) 環境負荷が低減する製品を提供します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
3. 当社で働く全ての社員にこの環境方針を周知します。

制定日:2010/9/22

上島珈琲貿易株式会社
代表取締役 上島淳史

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
上島珈琲貿易株式会社
代表取締役 上島 淳史
- (2) 所在地
本社 大阪府堺市美原区太井122-1
MUC QUEEN 京都店 京都市南区吉祥院御池町31イオン洛南1階
MUC QUEEN 茨木店 茨木市松ヶ本町8-30-4イオン茨木3階
UEBO 谷町店 大阪市中央区農人橋1-2-1大江ビル1階
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 江口誠一 情報管理室 TEL: 072-361-1000
担当者 石谷博幸 企画室 ホムページ: <http://www.muc-coffee.co.jp>
- (4) 事業内容
コーヒー焙煎加工・卸売・小売業 コーヒー、喫茶材料(食品・器具・消耗品類)販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 8億円

| | 本社 | 京都店 | 茨木店 | 谷町店 |
|-------|-------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 従業員 | 36名 | 10 | 9 | 3名 |
| 延べ床面積 | 990m ² | 110m ² | 89m ² | 74m ² |

平成22年9月1日現在

- (6) 事業年度 9月～8月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 上島珈琲貿易株式会社 本社
店舗 MUC QUEEN 京都店
店舗 MUC QUEEN 茨木店
店舗 UEBO 谷町店

活動: 珈琲豆の焙煎加工及び販売
フランチャイズチェーン(珈琲専門店MUC(マック)、珈琲舗MUC QUEEN)の主宰
家庭向けWEB通販

□主な環境負荷の実績

| 項目 | 単位 | 2010年 | | |
|-----------|--------------------|---------|--|--|
| 二酸化炭素総排出量 | kg-CO ₂ | 291,635 | | |
| 廃棄物排出量 | kg | 22,309 | | |
| 一般廃棄物量排出量 | kg | 22,309 | | |
| 産業廃棄物排出量 | kg | | | |
| 総排水量 | m ³ | 3,237 | | |

(注) 電力の二酸化炭素排出係数: 0.355kg-CO₂/kWh

□環境目標・実績

| 項目 | | 年 度 | 基準値 | 2011年 | | 2012年 | 2013年 |
|-------------------------------|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | (基準値) | (目標) | (実績) | (目標) | (目標) |
| 電力の二酸化炭素排出量削減 CO2換算係数0.355 | kg-CO2 | | 127,341 | 124,794 | 123,828 | 123,520 | 122,247 |
| | 基準年比 | (2010年) | | 98% | 97% | 97% | 96% |
| ガソリンの二酸化炭素排出量削減 | kg-CO2 | | 143,464 | 140,594 | 134,191 | 139,160 | 137,725 |
| | 基準年比 | (2010年) | | 98% | 94% | 97% | 96% |
| 上記二酸化炭素排出量合計 | kg-CO2 | | 270,804 | 265,388 | 258,019 | 262,680 | 259,972 |
| 一般廃棄物の削減 | kg | | 6,937 | 6,590 | 6,062 | 6,452 | 6,313 |
| | 基準年比 | (2010年) | | 95% | 87% | 93% | 91% |
| 食品リサイクル率の向上 | % | | | 28% | 44% | 30% | 32% |
| 節水 | m ³ | | 2,962 | 2,903 | 2,927 | 2,844 | 2,784 |
| | 基準年比 | | 2,010 | 98% | 99% | 96% | 94% |
| グリーン購入 | | | | 調査 | 把握中 | | |
| 製品への環境配慮 | | | | 調査 | 把握中 | | |

□環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 取り組み計画 | 達成状況 | 継続 / 変更 | 評価と次年度の取り組み内容 |
|-------------------------------|------|-----------------|--|
| 電力による二酸化炭素排出量の削減 | | | |
| 数値目標 | | 上方修正 下方修正 基準見直し | |
| ・ 不必要な照明の消灯 | | 継続 | 実質的には2月より活動した全社を上げてのさまざまな節電対策の結果、かろうじて目標達成できた。後半の節電率がかかなり上がっているので次期もこのペースを維持したい。 |
| ・ 使用していない部屋の空調の停止 | | 継続 | |
| ・ クールビズ、ウォームビズによる冷暖房使用抑制 | | 継続 | |
| ・ 空調機フィルターの定期的清掃・交換等の適正管理 | | 継続 | |
| 自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減 | | | |
| 数値目標 | | 上方修正 下方修正 基準見直し | |
| ・ エコドライブ等運転方法の励行 | | 継続 | 昨年11月から実施してきたエコドライブがじわじわと浸透してきた。今後は燃費・空気圧などを運転者が意識できるしくみを作り、さらなるガソリン使用によるCO2排出量抑制を行なう。 |
| ・ タイヤの空気圧の定期的確認と適正值保持 | | 継続 | |
| ・ 効率的なルートで配送 | | 継続 | |
| ・ エリア別営業活動の見直し | × | 継続 | |
| ・ 追加配送の防止 | × | 継続 | |
| ・ ハイブリッド車の導入 | | 継続 | |
| 一般廃棄物の削減 | | | |
| 数値目標 | | 上方修正 下方修正 基準見直し | |
| ・ 3S(整理・整頓・清掃)活動の実施 | | 継続 | 今後は紙類だけでなく、プラスチック系のゴミもリサイクルすることによって減量したい。 |
| ・ ほぼ全ての廃紙のリサイクル化 | | 継続 | |
| ・ コピー機、プリンターのトナーカートリッジのリサイクル化 | | 継続 | |
| ・ 帳票見直しによる印刷物の削減 | | 継続 | |
| 食品リサイクル率の向上 | | | |
| 数値目標 | | 上方修正 下方修正 基準見直し | |
| ・ 在庫管理強化による不良在庫発生抑制 | | 継続 | 工場のチャフの堆肥化により最終的に食品リサイクル率が44%まで上がった。今後は、直営店でのリサイクル率向上と、得意先へのリサイクル率向上を提起を実施したい。 |
| ・ 品質管理強化による不良品発生抑制 | | 継続 | |
| ・ チャフの堆肥化(リサイクル業者へ依頼) | | 継続 | |
| ・ 珈琲カスの直営店(UEBO)での配布 | | 継続 | |
| 節水 | | | |
| 数値目標 | | 上方修正 下方修正 基準見直し | |
| ・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示 | | 継続 | 残念ながらアと一步のところまで目標に届かなかった。今後は、工場のチャフ散水の循環に取り組みたい。 |
| ・ 日常的な節水励行 | | 継続 | |
| グリーン購入 | | | |
| ・ 事務用品グリーン購入比率向上 | | 継続 | グリーン購入の意識が出てきた。今後は数値化して管理していきたい。 |
| ・ 環境ラベル認定等製品の優先的購入 | | 継続 | |
| ・ 紙類について再生紙または未利用繊維への転換 | | 継続 | |
| ・ ハイブリッド車の導入 | | 継続 | |
| 製品への環境配慮 | | | |
| ・ 製品の長寿化の志向(窒素充填コーヒーの生産継続) | | 継続 | 今後も製品の長寿化や包装資材の見直しを実施していく。 |
| ・ 包材の軽量化の調査(パッケージプロジェクト立上) | | 継続 | |

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

| 適用される法規制 | 適用される事項（施設・物質・事業活動等） |
|------------|--------------------------|
| 廃棄物処理法 | 一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、食品廃棄物など） |
| フロン回収・破壊法 | 業務用空調機、冷凍庫、冷蔵庫 |
| NOx・PM法 | 大阪府条例（自動車流入規制、ステッカー貼付） |
| 食品リサイクル法 | 食品廃棄物 |
| 容器包装リサイクル法 | 製品の容器包装（紙、プラスチック） |
| 家電リサイクル法 | 家庭用冷蔵庫 |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、家電リサイクル法以外は環境関連法規制等は遵守されていました。

家電リサイクル法は現在（2011年9月時点）は遵守しています。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

食品廃棄物の再利用率は今年度の目標値28%に対して44%達成できました。

□代表者による全体の評価と見直し

当社の取り扱う珈琲は地球環境の変化による影響を受けやすい農作物です。我々の行う全ての事業活動および社員一人ひとりの行動を通じて、環境負荷の総合的な低減に取り組んでいます。現在の取り組みにより水道水以外の全ての項目が目標をクリアしました。環境経営推進のために環境教育に実施として環境社会検定試験の受験を推奨、結果6名が合格しました。

今後見直すべき点は、水道水の削減のために設備の改善を行うことです。また、今回の結果を踏まえ更なる無駄の抑制と環境教育の推進をします。更に、2台目のハイブリッド車の導入と照明器具のLED化を実施します。

そして次年度も全社が継続的に環境経営実現の為に環境活動に取り組みます。

□環境活動の紹介

【3S活動】

今期の環境活動の最大の取組は3S活動です。まだまだ端緒に着いたばかりで今は不要な物の整理しています。3S活動を実践し、場所・物・情報などの「見える化」を実現して商品や備品・消耗品などの適正な在庫を管理し、物の廃棄や無駄な物の購入を抑止しようとしています。

また、1年後にはきれいに生まれ変わった職場で全社員が気持ちよく誇りを持って働けるように努力します。

【食品リサイクル率向上への取組】

①チャフ(珈琲焙煎カス)のリサイクル

チャフの水分を飛ばして減量した後に堆肥にしてくれる業者に引き取ってもらっています。

②珈琲抽出カスのリサイクル

大阪の谷町四丁目にある直営店UEBO(うえぼ)で、平成23年2月から珈琲の抽出カスを乾燥させ袋詰めしてお客様に無料でお持ち帰りいただくサービスをしています。食品リサイクルのために、店の従業員からの提案で始めました。



③賞味期限切れの抑制

社内のみならず得意先へ納品した商品も賞味期限をチェックし、賞味期限を起さないように留意しています。

【珈琲の木】

珈琲の木を育てています。一社員が珈琲の生豆から発芽させ、気候が温暖な時は室外で寒い時は室内で丹精を込めて育て上げました。少しでも二酸化炭素を酸素に変えてくれるといいと思っています。



【エコ検定受験】

環境社会検定試験(eco検定)にトライしました。

平成23年7月の試験に10名受験し、6名が合格しました。